水を仕事にする

東京都下水道サービス

0

本

施設部中部北部センター三河島保全事業所主事

陸^さん 和田

元・代行する

政策連携団体であ

東京都の下水道事業を補 、下水道の専門技術者集都下水道サービス(TG

が揃っての全体ミーティングに後、まず事業所のメンバー26人

その日の業務の流れを確

施設の保全管理、汚泥処理施設おける管路の維持管理や水処理

ティングを行い、点検のポイン



数多くの設備機器を一つひとつ点検

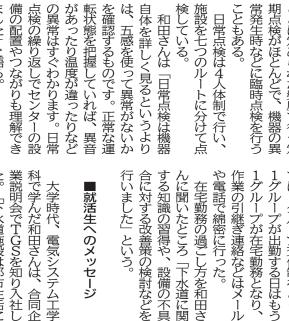


ち、12センターおよび区部の84 部に13ある水再生センターのうこのうち水処理保全事業は区 の運転・保全管理など多岐にわ た。三河島水再生センターは、三河島保全事業所に配属され 研修を経て、 昨年7月にTGS 卒業しTGSに入社、新卒社昌 ボンプ所の施設の保守・点検を 和田陸さんは昨年春に大学を し、決められた機器の点検を順れて広い敷地内を自転車で移動 くの種類があるが、 番にこなしていく。正午から1 トや危険箇所などを確認する。

参加後、7時15分に終業となる。 報告書作成などの事務作業を経 時間の昼休みを挟んで午後も点

い、正常な運

業説明会でTGSを知り入社し科で学んだ和田さんは、合同企大学時代、電気システム工学 「下水道施設は都市生活に



台風などの豪雨時に大量の雨水 かす電動機、停電時においてもなものは雨水ポンプとそれを動 ボンプを運転させるためのガス

を導入した。三河島保全事業所 から5月下旬にかけて在宅勤務 新型コロナウイルス感染症の ■感染拡大を受けた在宅勤務 - プ交代制をとり、

だき、一つひとつ着実業務について丁寧に教 ことができています

停止して行っている。かれ、普段は動いている機器をなもので、機械班と電気班に分で、皮期点検はより専門的

場では、ベテラン社員から点検にやりがいを感じています。職市インフラを支える重要な仕事なくてはならないものです。都



■点検業務の流れ

の保全管理業務を担っている。浄化センターの機械・電気設備 ら遠方監視制御している東尾久 水再生センターと同センター

の保守に関われることを誇りに なもので規模が大きいのです。

ことに定められた頻度で行う定 点検業務は、日常点検と設備

では2グル

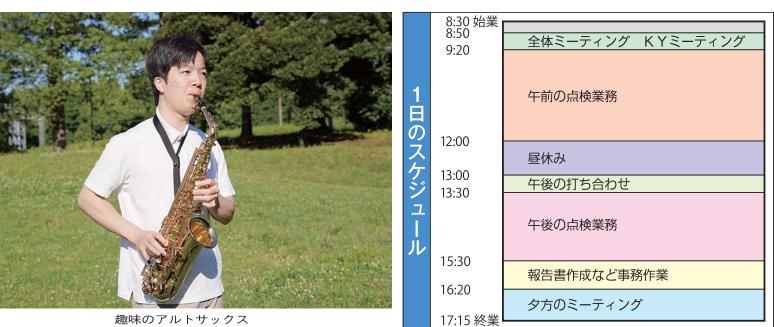
する知識の習得や、設備の不具んに聞いたところ「下水道に関在宅勤務の過ごし方を和田さ

9:20



センター内にある重要文化財の喞筒(ポンプ)室をバックに

趣味のアルトサックス







メタウォーター株式会社